

令和4年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会  
胃がん部会 概要

- 1 日時：令和4年12月23日（金） 13：30～15：30
- 2 場所：オンライン
- 3 出席者：

	氏名	所属
委員	清水 雅仁	岐阜大学医学部附属病院 副病院長
	後藤 裕夫	岐阜赤十字病院放射線科
	鳥澤 英紀	岐阜県医師会 副会長
	末次 かな子	(一社)ぎふ総合健診センター 診療放射線技師
	若山 美和子	市町村保健活動推進協議会保健師部会 (海津市)
オブザーバー	氏平 高敏	飛騨保健所 所長
事務局	井上 玲子	保健医療課長兼健康推進室長
	田中 和美	主幹兼がん・受動喫煙対策係長
	江坂 ゆめか	技師
	成瀬 萌果	主事

4 内容：

報告：1 令和3年度岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会胃がん部会議事

2 岐阜県のがんの現状等

- ・岐阜県の胃がん死亡率は、全国に比べ高い傾向が続いている。
- ・岐阜県では、I期のがんが全国に比較し経年的に少なく、近年はその傾向が改善傾向にあったが、令和2年度には再び減少した。

3 がんの予防（胃がん検診）の推進について

(1) 正しいがん検診の実施

- ・胃内視鏡検診を実施する市町村は増加傾向であり、県内の3分の1の市町村が実施している。
- ・指針に基づかないABC検診やヘリコバクターピロリ抗体検査を実施している市町村がある。リスク検診とがん検診は異なることを住民にわかりやすく説明することが必要。また、対策型検診としては推奨されていないこと、リスク検診とがん検診の同年度の受診不可は不利益となることについて部会として通知を行い、文書による指導とする。

(2) がん検診マネジメント

- 市町村のチェックリスト実施率は年々上昇しており、全国平均を上回っている。経年的にプロセス指標が悪い市町村への技術支援を実施していく。
- 市町村、検診機関別のチェックリスト及びプロセス指標の改善に向けて、市町村から積極的に検診機関へ働きかけを行うよう依頼予定。
- 市町村の精検結果回収方法について、がん検診の指針を遵守し、かつ、回収率を最大化できる方法を県内市町村の好事例から考察し、体制整備を進める。

⇒上記協議結果について、市町村及び検診機関に周知を行い、精度向上に向けた取組みを促していく。